

大阪科学技術センター（OSTEC）主催

ネクストリーダー育成ワークショップ イノベーションと事業開発（第11期）

～共創による製品開発・デジタル技術やデータ活用による価値の最大化～

- 幅広い視点から考え・整理できる力を身に付け、技術と時代の変化に対応し、新しい価値づくりに挑戦する「リーダー」を養成します。
- 社会起点で目的志向であり組織の境界を越えて共創しながら価値創造ができる個人（＝インタープレナー）の視座とスキルを身に付けることを目指します。

1.1 実施時期・回数・場所

[実施時期・回数] 2023年7月～11月（計5回シリーズ）

[実施方法] 第1回、5回は集合開催（於：OSTEC）、第2回～4回はZoomによるオンライン開催

回/日程	開催形態	各回のテーマ
第1回 (7/27)	集合 (OSTEC 会議室)	ファシリテーションの基本 既存事業の強みを活かした新規事業開発
第2回 (8/31)	オンライン	オープンプラットフォームとコミュニティから生まれる新商品・サービス共創
第3回 (9/28)	オンライン	バリューチェーンとモデリングデータを活かした価値の最大化
第4回 (10/19)	オンライン	Well-being 事業の共創を実現するエコシステムの組み立て方
第5回 (11/30)	集合 (OSTEC 会議室)	異なる意見をまとめて発表する力

* 第1回、5回は、終了後に1.5時間程度の交流会を予定

1.2 実施内容

- ・ファシリテーションの基本
- ・講義（各分野の有識者が新技術を事例を交えて解説。課題と方向性をレクチャー）
- ・グループディスカッション、発表（講義で得た基礎知識と活用事例をふまえ、設定したテーマ毎にグループディスカッションを行い、意見をまとめて発表）
- ・全体討議による議論やアイデアの深掘り
- ・参加者間の情報交換、ネットワーキング（交流会）

1.3 参加対象者と募集人数

- ・対象者：主に若手、リーダー、中堅社員（自社で参加にふさわしいと思われる方）
 - ・募集人数：30名（定員に達し次第〆切）
- * 参加者数が10名に満たない場合は、開催を見送る場合があります。

1.4 参加費

- ・賛助会員：173,250円／名（消費税込み）
 - ・非賛助会員：231,000円／名（消費税込み）
- * 参加お申し込み後、請求書を送付いたします。

1.5 講義テーマと講師

下表を参照 *講師との調整により内容が若干変更となる場合があります。

	講義内容	(敬称略)
第1回 7/27	「既存事業と技術の強みを活かした新事業開発」 TOTO(株) ウォシュレット生産本部 グループリーダー 岡野 慎司 (講義概要) お皿から衛生陶器、暖房便座からウォシュレットへ。時代の要求に応えた新商品の開発を通じて、屋外トイレ(厠)→屋内トイレ(便所)→トイレ空間(レストルーム)へと住宅環境の価値を高めてきた事例から、自社の強みを活かした新規事業を学びます。 また、新規事業が直面した水と電気、陶器と樹脂という相反する課題に取り組んだ事例から、専門領域の異なる社内部門間のコミュニケーションの要点を学びます。	
第2回 8/31	「オープンプラットフォームとコミュニティから生まれる新商品・サービス共創」 東芝デジタルソリューションズ(株) ICTソリューション事業部 ifLink 推進室 部長 千葉 恭平 (講義概要) 東芝が開発した、自由な組み合わせでIoTが創れるプラットフォームのオープン化の取り組みと、業界・企業・学生・団体から垣根を越えて多彩な人材・アセット・アイデアが集まるオープンイノベーションの場であるコミュニティから生まれる新商品・サービス共創の取り組みを、様々な事例を通して学びます。	
第3回 9/28	「建設データを活用したバリューチェーンの最大化(攻めと守りのDX展開)」 大和ハウス工業(株) 本社技術統括本部 建設DX推進部 次長 宮内 尊彰 (講義概要) BIMを中心としたデジタルバリューチェーンを活用し、建設業の働き方改革や業務効率などものづくりのプロセス改革を実施しています。社内改革となる守りのDXから攻めのDXへ変革していく過程を事例と共に示し、業界を超えたDX手法および活用を学びます。	
第4回 10/19	「ヘルスデータ利活用によるWell-being事業の共創」 ～インタープレナーの役割とエコシステムづくり～ SUNDRED(株) EVP/GM West Region MIRACLE バイオコミュニティ関西 アドバイザー 有限監査法人トーマツ ビジネスアドバイザー 大阪公立大学 研究推進機構 特任教授 宮川 潤 (講義概要) 新規事業の共創に欠かせないエコシステムの構築のしかたを学びます。インタープレナーを交えてヘルスデータの利活用の仕組みを共創し、一人ひとりのWell-beingの実現を目指す新事業の構築を考えます。インタープレナーとは組織の壁を越えて対話し、新しい目的の実現に取り組んでいく社会人です。	
第5回 11/30	最終発表 「2030年の『モノとサービスを組み合わせたビジネス』を考えよ！」 グループ対抗でビジネスアイデアを発表。各グループの発表を審査して表彰。	

ファシリテーターについて：

黒田 聡（(株)情報システムエンジニアリング 代表取締役社長、(一財)テクニカルコミュニケーション協会 評議員、公益活動企画会議議長）

東京生まれ。実務家として情報通信業を営む企業を経営する傍ら、テクニカルコミュニケーション技法の社会実装活動を展開。業界団体の創設にも関わり、主に公益活動において人材育成および業界の発展に努めている。本技術領域における日本の有識者として他国組織や有識者との交流も主導している。

2018 年度から 2021 年度に大阪大学 C0 デザインセンターの招へい准教授として工学コミュニケーションの研究と育成に関与。京都大学大学院医学研究科の非常勤講師、大阪大学大学院医学系研究科の招へい研究員や招へい教員としてヘルスコミュニケーションおよび健康情報の知識化と構造化の研究に関わりながら高齢社会に適したコミュニケーション技法の研究と社会実装に努めている。2023 年度から大阪大学大学院工学研究科の招へい准教授として、ビジネスエンジニアリングに関する研究と育成に従事する。構造化技法に関する技術者として著書多数（いずれも共著）。情報提供システムおよび情報提供方法関連特許を日本、米国、中国などで多数取得している発明家でもあり、近年は実績を背景としたインタープレナーとして、異分野の組織や有識者との共同活動を通じてウエルビーイングの実現を目指す事業を推進している。



1.6 基本的なスケジュール

スケジュール	実施項目
13:00～13:15	チェックイン（ワークショップの進行・参加者間の自己紹介）
13:15～14:00	講義（前半）Q & A 5 分含む
14:00～14:40	グループ討議①
14:40～15:05	発表＋全体討議
15:05～15:10	振り返り
15:20～16:05	講義（後半）Q & A 5 分含む
16:05～16:45	グループ討議②
16:45～17:10	発表＋全体討議
17:10～17:25	振り返り
17:25～17:30	クロージング

＊第 1 回は、10:00～12:00 に、オリエンテーション・ファシリテーションの基本の講義を行います。

＊第 5 回は、13:00～17:30 ですが、最終発表につき上記スケジュールとは異なります。

＊第 1 回、第 5 回は、17:30～19:00 に交流会を開催します。

2. お申し込み方法

- ・別紙の参加申込書に記入の上、事務局あてに、Eメールでお送り下さい。
- ・30 名の定員となりますので、お早めにお申込み下さい。
- ・グループワークの性格上、できるだけ同一の方が 5 回を通じてご参加ください。

3. 募集期間と受講のご連絡

- ・応募締切り：2023 年 7 月 20 日（木） ＊定員に達し次第、締め切ります。
- ・受講の連絡：お申込みを受け取り後、事務局からご連絡いたします。

4. 参加申込み先およびお問い合わせ先

一般財団法人 大阪科学技術センター イノベーション推進室（担当：篠崎）

E-mail: innovation@ostec.or.jp

受講者の声

- ✓ゼロベースでビジネス案を考える機会を得ることができたことは、中々経験できないので、非常に有意義だった。
- ✓講師が良く、アイデア構想から製品化まで実施された経験や社内突破の話は貴重だった。
- ✓特にファシリテーションの基本と最終発表は有意義だった。
- ✓自身の取り組みがお金になるのか？は常々不安に思っていたので、第3回講義のマネタイズ戦略が非常に勉強になった。
- ✓グループワークを通して、どれだけAIやIoTに関連する知識を入れても、正しくファシリテートできないと、集団で良いアイデアを出すのが難しいことを、身をもって経験できた。
- ✓バックグラウンドの異なる他業種からの優秀な参加者から意見を聞くことによる異なる発想での知識の吸収、視野の拡大ができた。
- ✓「様々な意見を持った人と議論をする」ということに少し慣れたので、ユーザーとの打合せでも、ユーザーの意見を最初から否定せずに、聴くことができるようになった。
- ✓社内の新規取り組みの初期段階で、自らが先頭に立って、メンバーを集めディスカッションを行う場面で、ディスカッションの進め方など、今回の経験が生きた。
- ✓堅苦しくなくリラックスした雰囲気で大変良かった。次回も弊社から参加を勧めたい。

＜これまでの参加企業＞

(敬称略・五十音順・参加当時の社名)

朝日放送テレビ/エネゲート/大阪ガス/大阪ガスケミカル/大阪ガスマーケティング/大阪冶金興業/沖電気工業/金井重要工業/カネカ/川崎重工業/関西電力/KANSO テクノス/関電システムソリューションズ/関電パワーテック/神戸製鋼所/近鉄グループホールディングス/きんでん/栗本鐵工所/KDC/最上インクス/三信建築設計事務所/三洋化成工業/GS ユアサ/JRC/ジェイテクト/島津ビジネスシステムズ/神鋼環境ソリューション/新コスモス電機/親和運輸/住友電気工業/積水インテグレートドリサーチ/積水化学工業/善友金属/ゼンユー/ソフトウェアエンジニアリング/大日本除虫菊/ダイセル/ダイヘン/太陽刷子/タカラベルモント/タクマ/竹中工務店/椿本チエイン/TOA/東西化学産業/東洋紡/中尾フィルター工業/ナルックス/日本カタン/日本製鉄/日本ピラー工業/日本触媒/日本ネットワークサポート/日本バルカー工業/パナソニック/日立製作所/日立造船/富士インパルス/フジキン/古野電気/北海道住電スチールワイヤー/ホンダエンジニアリング/三ツワフロンテック/村田機械/メタウォーター/モリタ製作所/和歌山大学

テーマ「イノベーションと事業開発（第11期）」参加申込書

メール: innovation@ostec.or.jp (大阪科学技術センター イノベーション推進室 篠崎宛)

申込締切日：2023年7月20日（木）まで

機関名：		
所在地：〒		
TEL：（ ） — FAX：（ ） —		
氏名	所属・役職	メールアドレス

- * 個人情報は、本ワークショップ運営・管理等に関するご連絡及び当財団の関連事業等のご案内以外には使用しません。
- * 原則、全日程へのご参加がお申し込みの条件となります。

個人情報の取扱いについて

- ・本ワークショップへのお申込みにあたり、個人情報保護のため、(一財)大阪科学技術センターが、適切に取り扱います。
- ・ご記入頂いた個人情報は、本ワークショップの運営・管理等に関するご連絡及び当財団の関連事業のご案内以外には使用しません。
- ・個人情報の取扱いは、当財団の「個人情報保護規程」に従って対応いたします。